

第66期 第2四半期 事業のご報告

平成27年 4月 1日から平成27年 9月30日まで

 **中国工業株式会社**

証券コード 5974



株主のみなさまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。
平素は、当社グループの事業運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
当社グループの第66期 第2四半期の事業の概況および業績についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向が継続するなかで回復基調にあるものの、円安進行による輸入コストの上昇や中国経済の減速が鮮明となり、先行きの不透明感を十分に払拭できないまま推移しております。設備投資は、補助金の活用等が寄与して堅調に推移しているものの、停滞感が出てきており、いまだ力強さに欠ける状況となっております。

一方、改正電気事業法が成立し、平成28年の電力小売の完全自由化が決定されたことを受け、当社グループを取り巻くガス事業分野のエネルギー関連は規制緩和の方向に進み、業種の垣根を越えた業界再編に向けての変化が予想されます。

このような経済情勢のなか、貨物輸送量の減少により運送事業が減収となりましたものの、LPガス充填所等プラント、搬送機器、及び環境資材の工事完了により、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は54億58百万円（前年同期比3億70百万円増収）となりました。

利益につきましては、営業損失は利益率の低下及び運送事業の事務所移転に伴う費用処理等により、1億63百万円（同49百万円赤字拡大）となり、経常損失は1億28百万円（同30百万円赤字拡大）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純損失は搬送機器事業の譲渡益により47百万円（同71百万円赤字縮小）となりました。

このような状況のもと、当社グループは収益の確保に向け売上の拡大及び、あらゆるコストの削減に努めていく所存であります。

株主のみなさまには、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

のむら まこと
野村 實也

営業の概要

セグメント別の営業状況

《高圧機器事業》



高圧ガス容器

一般高圧ガス容器の販売数量が落ち込んだものの、LPガス容器は前年同期並みに推移し、LPガス充填所等プラント工事完了により、売上高は前年同期を上回りました。
セグメント利益はLPガス容器の受注競争の影響による利益率の低下により、前年同期を下回りました。

売上高	31億16百万円	(前年同期比 10.2%増)
セグメント利益	86百万円	(前年同期比 34百万円減)

《鉄構輸送機事業》



インナーカバー

コンベヤ設備を主体とした搬送機器の大型物件の工事完了により、売上高、セグメント利益ともに前年同期から増加いたしました。

売上高	4億30百万円	(前年同期比 38.5%増)
セグメント利益	30百万円	(前年同期比 14百万円増)

《施設機器事業》



簡易飼料中継基地

飼料タンクの販売数量が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。
セグメント損失は前年同期と比べ若干赤字縮小となりました。

売上高	5億52百万円	(前年同期比 1.5%増)
セグメント損失	27百万円	(前年同期比 0.7百万円赤字縮小)

《運送事業》



引越トラック

国内貨物輸送量が低水準で推移したことにより、売上高が前年同期を下回りました。
京浜横浜営業所の移転に伴う費用処理等により、セグメント損失は前年同期黒字から赤字となりました。

売上高	13億59百万円	(前年同期比 3.2%減)
セグメント損失	10百万円	(前年同期黒字から赤字)

主要営業品目

高圧機器事業	高圧ガス容器（LPガス及びその他の高圧ガス）、LPガスバルク貯槽、LPガス貯槽、その他の高圧ガス貯槽、その他の高圧ガス製造・消費プラント及び関連設備の製造販売、コンポジット容器
鉄構輸送機事業	搬送機器設備の設計施工、焼鈍炉用インナーカバー及びその他各種鉄構製品の製造販売 (なお、搬送機器事業につきましては平成27年9月に事業譲渡いたしました)
施設機器事業	飼料用タンク及びコンテナ、廃水処理装置、畜産機材、薬品タンク、脱臭装置及びその他各種FRP（強化プラスチック）製品の製造販売
運送事業	一般区域貨物運送業、引越業、倉庫業



LPガスストレージタンク



プラコンポ 7.5kg

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	前期末 平成27年3月31日	当第2四半期末 平成27年9月30日
資産の部		
流動資産	5,301,095	5,002,242
現金及び預金	996,518	688,135
売掛債権	3,200,202	2,995,619
たな卸資産	1,003,575	1,180,361
その他	100,797	138,125
固定資産	5,266,630	5,265,332
有形固定資産	3,485,629	3,562,326
建物及び構築物	574,661	603,736
土地	2,472,552	2,503,434
その他	438,414	455,152
無形固定資産	36,110	38,078
投資その他の資産	1,744,890	1,664,927
投資有価証券	1,629,421	1,575,584
その他	115,469	89,343
資産合計	10,567,725	10,267,574

資産合計は、たな卸資産が1億76百万円、有形固定資産が76百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が3億8百万円、受取手形及び売掛金が2億63百万円それぞれ減少し、前期末より3億円（2.8%）減の102億67百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が57百万円、前受金が59百万円それぞれ増加したものの、電子記録債務が2億32百万円、未払消費税等が56百万円それぞれ減少した結果、前期末より1億83百万円（2.8%）減の63億61百万円となりました。

科 目	前期末 平成27年3月31日	当第2四半期末 平成27年9月30日
負債の部		
流動負債	4,506,045	4,384,915
買掛債務	2,241,634	2,066,639
短期借入金	1,664,056	1,731,060
前受金	70,244	129,359
その他	530,107	457,851
固定負債	2,038,666	1,976,412
長期借入金	601,540	572,340
退職給付に係る負債	933,324	939,286
その他	503,800	464,783
負債合計	6,544,712	6,361,327
純資産の部		
株主資本	3,161,151	3,090,451
資本金	1,710,000	1,710,000
資本剰余金	329,347	329,347
利益剰余金	1,202,636	1,132,126
自己株式	△ 80,832	△ 81,021
その他の包括利益累計額	575,796	536,188
非支配株主持分	286,065	279,606
純資産合計	4,023,013	3,906,246
負債純資産合計	10,567,725	10,267,574

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

純資産合計は、利益剰余金が70百万円、その他有価証券評価差額金が39百万円減少した結果、前期末より1億16百万円（2.9%）減の39億6百万円となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	5,087,529	5,458,445
売上原価	4,121,352	4,512,478
売上総利益	966,176	945,967
販売費及び一般管理費	1,080,561	1,109,891
営業損失（△）	△ 114,385	△ 163,924
営業外収益	33,277	49,885
営業外費用	16,321	14,094
経常損失（△）	△ 97,429	△ 128,133
特別利益	909	92,650
特別損失	665	2,089
税金等調整前四半期純損失（△）	△ 97,184	△ 37,572
法人税等	18,452	12,908
四半期純損失（△）	△ 115,637	△ 50,481
非支配株主に帰属する四半期純利益 （△：損失）	3,030	△ 3,469
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△ 118,667	△ 47,012

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

売上高は、前年同期に比べ3億70百万円増収の54億58百万円となりました。

利益率の低下や運送事業の営業所移転に伴う費用処理等により、営業損失は前年同期に比べ49百万円赤字が拡大し、1億63百万円となりました。
経常損失につきましても前年同期に比べ30百万円赤字が拡大し、1億28百万円となりました。
一方、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましても、搬送機器事業の譲渡益により前年同期に比べ71百万円赤字縮小し、47百万円となりました。

連結キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期
	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュフロー	211	△ 218
投資活動によるキャッシュフロー	△ 54	32
財務活動によるキャッシュフロー	△ 313	△ 4
現金及び現金同等物の増加額	△ 156	△ 190
現金及び現金同等物の期首残高	486	511
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	330	320

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

《当第2四半期のキャッシュフローの概要》

- ・営業活動によるキャッシュフローは、前受金の増加、売上債権の回収は進んだものの、たな卸資産の増加、仕入債務の減少により、2億18百万円の支出となりました。
- ・投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得はありましたものの、定期預金の払戻及び事業譲渡による収入により32百万円の収入となりました。
- ・財務活動によるキャッシュフローは、借入金は増加したものの、リース債務の返済、配当金の支払いにより4百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べ1億90百万円（37.3%）減少し、3億20百万円となりました。

連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成27年4月1日期首残高	1,710,000	329,347	1,202,636	△ 80,832	3,161,151	575,796	286,065	4,023,013
連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△ 23,498	—	△ 23,498	—	—	△ 23,498
四半期純損失（△）	—	—	△ 47,012	—	△ 47,012	—	—	△ 47,012
自己株式の取得	—	—	—	△ 189	△ 189	—	—	△ 189
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の連結会計 期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	△ 39,608	△ 6,458	△ 46,067
連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 70,510	△ 189	△ 70,699	△ 39,608	△ 6,458	△ 116,767
平成27年9月30日残高	1,710,000	329,347	1,132,126	△ 81,021	3,090,451	536,188	279,606	3,906,246

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

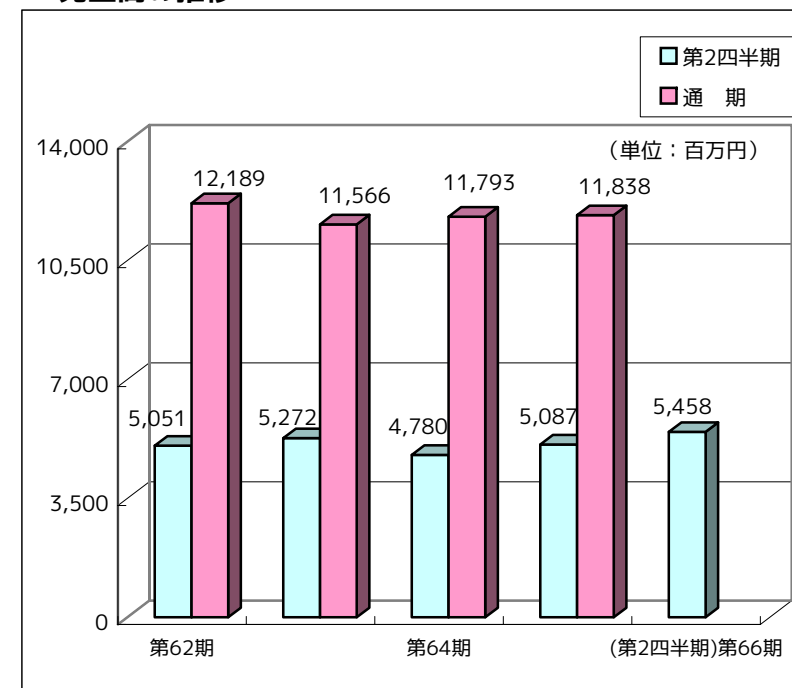
連結営業成績および財産の状況の推移

《第2四半期》	平成23年度 (第62期)	平成24年度 (第63期)	平成25年度 (第64期)	平成26年度 (第65期)	平成27年度 (第66期)
売上高（百万円）	5,051	5,272	4,780	5,087	5,458
経常損失（△）（百万円）	△ 2	△ 139	△ 168	△ 97	△ 128
四半期純損失（△）（百万円）	△ 17	△ 163	△ 194	△ 118	△ 47
1株当たりの四半期純損失（△）（円）	△ 0.50	△ 4.82	△ 57.54	△ 35.03	△ 13.88
純資産（百万円）	3,128	3,156	3,192	3,567	3,906

《通 期》	平成23年度 (第62期)	平成24年度 (第63期)	平成25年度 (第64期)	平成26年度 (第65期)
売上高（百万円）	12,189	11,566	11,793	11,838
経常利益（△：損失）（百万円）	299	△ 84	91	163
当期純利益（△：損失）（百万円）	239	△ 116	61	114
1株当たりの当期純利益（△：損失）（円）	7.07	△ 3.45	18.07	33.75
純資産（百万円）	3,412	3,360	3,481	4,023

※平成25年10月1日付けで10株につき1株の割合で株式併合を行いました。平成25年度期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失および1株当たり当期純利益を算定しております。

売上高の推移



株式の概況（平成27年9月30日現在）

(1) 株式の総数

- ① 発行可能株式総数 8,000,000 株
- ② 発行済株式の総数 3,420,000 株

(2) 株主数 4,186 名

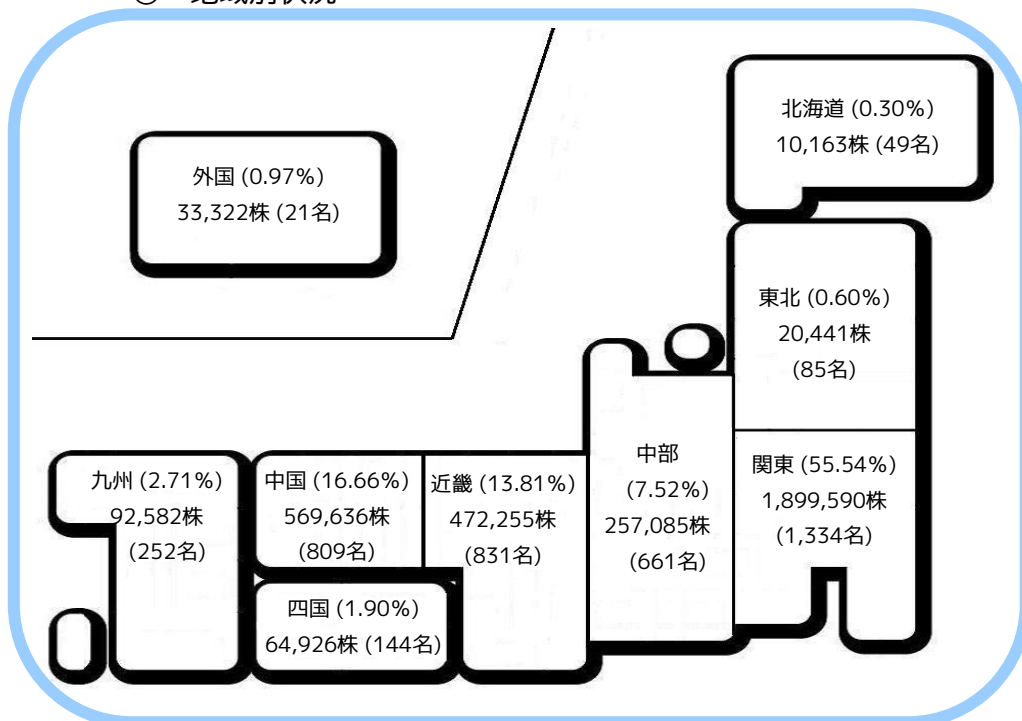
(3) 大株主（上位10名）

株主名	持株数	出資比率
日新製鋼株式会社	4,036 百株	11.80 %
日本証券金融株式会社	1,224	3.57
株式会社広島銀行	1,100	3.21
株式会社SBI証券	1,003	2.93
株式会社宮入バルブ製作所	990	2.89

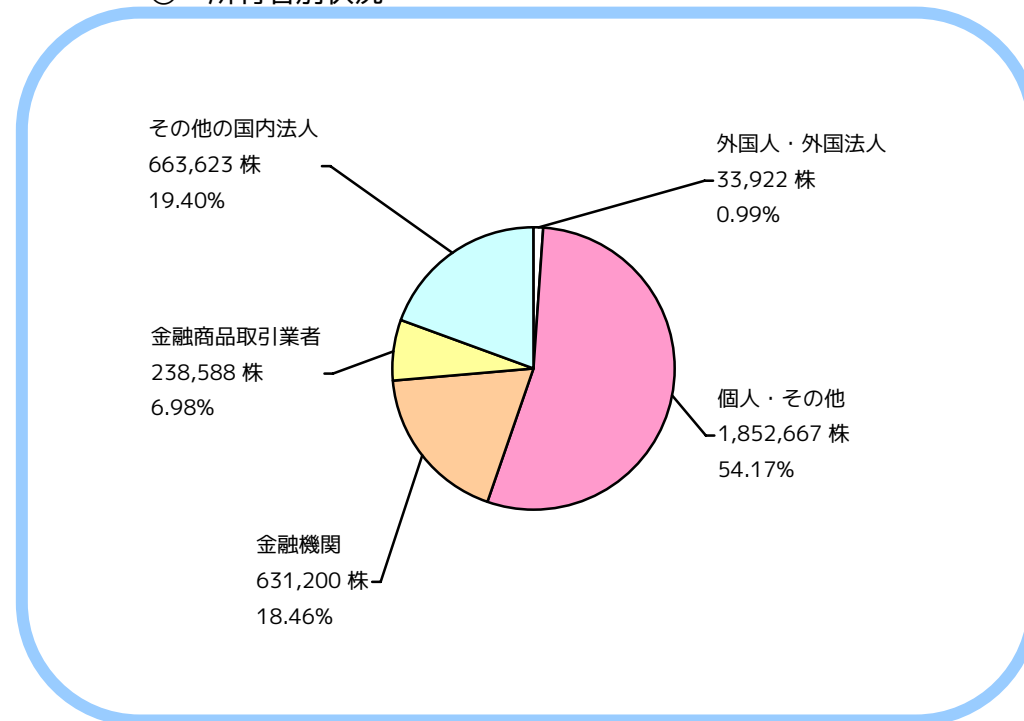
株主名	持株数	出資比率
堀越円	660 百株	1.92 %
中鋼運輸株式会社	590	1.72
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	500	1.46
莫華民	468	1.36
日本瓦斯株式会社	440	1.28

(4) 株式分布状況

① 地域別状況



② 所有者別状況



会社の概要（平成27年9月30日現在）

設立 昭和25年10月4日

資本金 17億1,000万円

従業員数 293名

登記上の本店 広島市中区小町2-26

《事業所》

本社事務所 ☎ 0823-72-1212
広島県呉市広名田1-3-1

高圧機器工場 ☎ 0823-72-1215
広島県呉市広名田1-3-1

鉄構機器部 ☎ 0823-72-1617
広島県呉市広名田1-5-5

施設機器部 ☎ 0823-72-1615
広島県呉市広名田1-5-5

営業推進部 ☎ 03-3256-4411
東京都千代田区神田東松下町27

大阪支店 ☎ 06-6633-4801
大阪市中央区日本橋1-17-17

富山営業所 ☎ 076-425-0410
富山県富山市五番町4-10

東京支社 ☎ 03-3256-4411
東京都千代田区神田東松下町27

広島支店 ☎ 082-247-0200
広島市中区小町2-26

高松営業所 ☎ 087-833-6095
香川県高松市中新町2-9

仙台支店 ☎ 022-223-7181
仙台市青葉区本町2-10-28

福岡支店 ☎ 092-751-4528
福岡市中央区天神2-8-49

鹿児島営業所 ☎ 099-254-5872
鹿児島県鹿児島市鴨池新町5-6

名古屋支店 ☎ 052-962-1861
名古屋市中区錦3-2-1

札幌営業所 ☎ 011-231-7221
札幌市中央区北二条西4-1

帯広出張所 ☎ 0155-28-5042
北海道帯広市東七条南14-1-13



役員（平成27年9月30日現在）

代表取締役社長 野村 實也

常務取締役 原田 宏昭

常務取締役 肥後 裕一

常務取締役 中村 博年

取締役 細川 光一

取締役 保岡 義昭

社外取締役 河野 隆

常勤監査役 山田 秀昭

社外監査役 旭 爪 勝

社外監査役 古居 正武

《グループ会社》

連結子会社（1社）

・中鋼運輸株式会社

非連結子会社（5社）

・高圧プラント検査株式会社

・第一興産有限会社

・有限会社エヌシーケー

・豊栄プレス有限会社

・三慶商事有限会社

トピックス

7.5kg型プラコンポ（LPガス用「コンポジット容器」）の販売開始

今秋、7.5kg型プラコンポの販売を開始しました。

将来に向けて機種を増やすよう開発を強化するとともに、エネルギー多様化の中で、LPガス業界に新風を吹き込み、業界のイメージアップに寄与すべく努力してまいります。

プラコンポの特徴

1. 鋼製容器の半分程度と軽く、持ち運びが容易
2. カラフルで美観に優れ、室内で使用しても違和感が無い
3. ガス残液量が目視でき、ガス切れ防止に役立つ
4. オールプラスチック製なのでサビの発生が無く、船舶や沿岸地域の使用でも安心



ガスコンロ

パラソル型屋外ヒーター



ガス式衣類乾燥機



災害時の炊き出しに

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所（一部）
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.ckk-chugoku.co.jp/koukoku/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、広島市において発行する中国新聞に公告いたします。）
単元株式数	100株
証券コード	5974

（ご参考）

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等の各種手続きについて
 - ・株主様の口座がある口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
 - ・証券会社等に口座がないため、特別口座に記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

 **中国工業株式会社**

〒737-0192 広島県呉市広名田1-3-1

<http://www.ckk-chugoku.co.jp/>